



●夏休み中の学習より

8月4～5日、2年1組の生徒は校内学習会に参加しました。これは、4～6日に鹿児島中央高校で実施された「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」に台風接近のため参加できず、その代わりに設けられたものです。「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」の教材を使用して、1コマ90分間の授業や自主学习に、2日間精一杯取り組みました。授業や教材のレベルが、ときには日頃のものを超えることもあり、苦勞している人もいました。しかし、参加した人の感想には、この経験からたくさんのことを学びとり、充実した2日間を過ごしたことが多く述べられています。下に、その一部を挙げておきます。特に1年生のみなさんは、自分が「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」に来年参加するつもりで読んで、参考にしてください。

- (鹿児島)中央高校に行って本土の同級生の勉強の姿勢などを見てみたいと思いました。
- 「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」(に参加するの)が中止になって、正直最初は嬉しいとか思っていました。だけど、この2日間学校で勉強をして思ったのが、やっぱり鹿児島で勉強したかったなぁということでした。
- 準備してたのに(「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」が)なくなって台風を恨む(笑)。でも、この2日間の授業にちゃんと取り組めたし、復習ができたからよかった！
- 授業は90分だと聞いてあんまりにも長すぎるんじゃないかと思っていましたが、思ったほど長く感じなかったので良かったです。
- 来年の北九州予備校の夏季講習があるなら、今度こそ行きたい、台風来るなどと思っています。
- 2年1組だけで学校で勉強をして、勉強をする雰囲気ができあがっていたので、授業を集中して聞くことができよかったです。
- 集中力が予想以上にもたないことが分かった。いつも50分やって10分休憩という方法をとっているからかもしれない。とにかく新しい課題も発見できた。
- 英語・国語は授業のときは理解していたのに忘れてしまっていることが多くて自分の実力のなさにガッカリしたけれど、この夏休みで文法(句法)・単語などは確実に覚えるようにしたいと思います。

- 今日の数学でセンター試験の問題を解きました。全然解けなくてすごく悲しい気持ちになりました。けど、へこんでいないで、今から少しずつ解けるようになっていけばいいなとポジティブに考えることができ、とてもよかったです。
- (自分が住んでいるのが)島だから、まわりがどれくらいがんばっているのかなかなか知れないというのもあるけど、それを言い訳にして頑張れないのは人生の終わりだと思うので、今年も本気で学習に取り組みます。
- 私はこの2日間で、来年の今日のことを考えていました。落ち着いて進路(実現)に向けて勉強できているか、それとも焦っているのか、どちらだろうと考えました。私は落ち着いて勉強したいです。そのためには、今から最低限しなければならぬことをしようと思います。

●宅習を充実させよう。

9月11～17日は普通科の宅習時間調査の期間でした。この調査を通して、多くの人が自分の学習時間・方法、さらに学習への態度を見直し、気持ちを新たに宅習に取り組んでいることと思います。

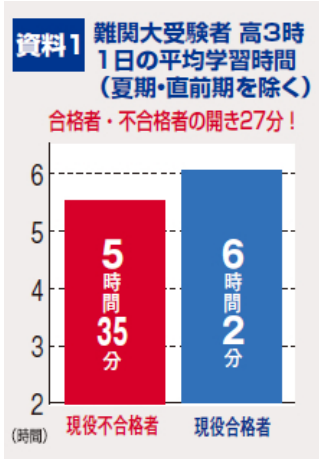
宅習がしっかりとできていないと、学校の授業での学習がおぼつかなくなり、学力が順当に伸びていきにくくなります。すると、校内実力考査や対外模試の結果が望ましいものにならないのはもちろんのこと、3年生の場合、受験で通用する力のある教科・科目が少なくなります。すると、進学先として選択できる学校・学部・学科が限定されてしまいます。その結果、自分の希望する進路選択ができなくなってしまうことがあります。つまり、**宅習の出来・不出来が、みなさんの将来を左右する**ということなのです。

忙しい毎日の中では、明日の授業の予習や宿題をこなすのに手いっぱいになることもあるでしょう。しかし、自分の視野を遠く未来にまで広げて、今やっている宅習が自分の今後の可能性を伸ばしてくれることをときには思い出しましょう。

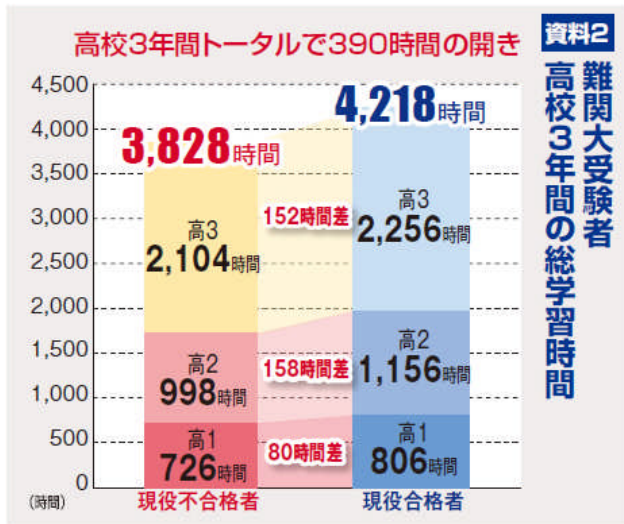
次に、東進ハイスクールの TOSHIN TIMES on Web 2013年5月1日号に宅習時間に関する記事が掲載されていました。その内容を簡単に紹介します。

(裏へ)

「合格発表会場アンケート」の結果から、合格者と不合格者の学習時間を調べてみました。難関大学に現役合格した高校生が高3だったときの学習時間（学校での学習時間を除く）は、一日平均6時間2分であったのに対して、不合格者は5時間35分であり、27分



しか差はありませんでした（資料1）。さらに、高校3年間の総学習時間の場合、合格者が4218時間、不合格者が3828時間となり、390時間の差があることが分かりました（資料2）。これは1日6時間勉強するとした場合の65日分に相当します。



これらの数字から言えるのは、合格・不合格を分けたのは高3の学習時間ではないということです。高校3年間の総学習時間が大切なのです。学習時間を確保しないままに高1・2を過ごし、高3になってやっと増やした人は、高1・2の頃から学習時間をしっかり確保してきた人と対等の結果を出せない傾向があるのです。

したがって、1・2年生のみなさんは高校3年間の総学習時間を増やすことを目標に、今の宅習時間に目を光らせて、宅習時間が十分なものになることを目指しましょう。特に、基礎基本の習得を徹底することにあせらず全力を注いでください。そうすれば、3年では、1・2年で固めた土台の上に、模試・入試問題など応用の学習を自然と積み上げられます。

また、3年生のみなさんは、過去がどうであれ、今からできることだけに気持ちを向けましょう。そして、

受験本番までに残された時間をどう勉強に割り振るかをきちんと形にしましょう。たとえば、今日がセンター試験100日前であるとしします。1日に宅習を6時間するとすれば、合計600時間勉強できるということです。この600時間のうち、自分の不得意な英語に200時間、数学に150時間、そしてその他の科目に残りの250時間を割り当てることにします。すると、1日の勉強時間は、英語で2時間、数学は1時間30分、その他の教科で2時間30分ということになります。このように、1日の勉強時間を計画し、その中でできる限りのことをしていきましょう。

●校外模試や資格試験を積極的に受験しよう！

2学期は受験勉強の仕上げや受験本番の時期で、3年生のみなさんはいよいよ自分の力を試されます。しかし、「力試し」があるのは3年生だけではなくありません。1・2年生のみなさんにも、模試や資格試験を受験して自分の力を試す機会が多く設けられています。

これらの「力試し」は、みなさんの今の学力の状態や今後の学習の指針を示してくれるものです。さらに、資格試験は、合格して資格を取得すれば、自分の人生を切り開く大きな力になります。また、たとえ受験自体がうまくいかずとも、そこまでの努力が次の受験を支えてくれるものです。だから、模試や資格試験に積極的に頑張って損することはありません。勇気を持ってこれらの「力試し」に挑みましょう。

その際大切なのは、いつ、どのような試験を自分が受験するかをしっかりとつかみ、残された時間でできる対策を練り上げて、それに計画的に取り組むことです。参考までに、普通科を対象とする10～12月の対外模試の予定を下に挙げておきます。

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1年 | ・進研学力総合テスト（11月1日） |
| 2年 | ・進研学力総合テスト（11月1・2日） |
| 3年 | ・進研駿台共催記述模試（10月18・19日） |
| | ・全統マーク模試（10月25・26日） |
| | ・北予備各大学プレテスト（11月1日） |
| | ・進研駿台共催マーク模試（11月8・9日） |
| | ・代ゼミセンター試験プレテスト
（11月29・30日） |
| | ・北予備ファイナル模試
（12月20日・21日） |